

一般社団法人 島根県サッカー協会

—— これまでのあゆみ

島根県サッカー協会は、昭和24年に島根県蹴球協会が創られたことにより産声をあげた。その後、平成8年に松江市に事務局を常設し、社団法人となり、平成24年に一般社団法人に移行して現在に至っている。

この間、(公財)日本サッカー協会や行政機関等各種関係機関と連携を図り、サッカーの普及・強化、施設整備等を行ってきた。平成11年に県立サッカー場(益田市)改修の働きかけをしたほか、平成18年に松江市に人工芝グラウンド、平成24年にはサンビレッジ浜田人工芝スポーツ広場、平成29年には出雲健康公園多目的広場(人工芝)の整備を行った。現在も各地域のさまざまな年代の活動の拠点となっている。

令和4年には、県内初のフットサル国際親善試合日本代表対ブラジル代表が松江市総合体育館で開催された。当日は、多くの観衆が詰めかけ、関心の高さが感じられた。

—— 現在の状況

現在、県内にJリーグで戦うチームは存在しないが、毎年、中国サッカーリーグで上位の成績を収めているベルガロツいわみが、Jリーグ参入を目指して挑戦を続けている。

また、平成30年から日本フットサルリーグ(Fリーグ)ディビジョン2に参入しているボルセイド浜田も、上位進出を目指している。

令和5年、県内唯一の女子チームであるディオッサ出雲FCが、9年間に及ぶ挑戦を経て悲願のなでしこリーグ2部参入を果たした。



令和5年11月 デイオッサ出雲FCが昇格達成

また、E-WING出雲が、全国クラブチームサッカー選手権大会において全国優勝を果たすという素晴らしい結果を残している。

Jリーグへの参入、リーグ上位への進出とも決して簡単な道のりではないが、選手、スタッフ、サポーターが共に戦う姿を、当協会としても後押しをしていきたい。

こうした社会人の挑戦とともに高校生以下の育成年代での活躍も目を引いている。高円宮杯JFA U-18サッカー

プリンスリーグ中国で戦う立正大学淞南高等学校、令和6年度から参入した大社高等学校を中心に、各地で熱い戦いが繰り広げられている。

中学年代でも、令和5年、中国中学校サッカー選手権大会で準優勝した出雲市立第三中学校が、32年ぶりの全国大会出場を決めるなど、今後が楽しみな結果を残している。



令和5年8月 出雲三中が中国中学総体準優勝

小学生年代では、少子化の影響を受け、全体の登録数こそ減少傾向が続いている。しかし、サッカーの入口となるキッズ年代も含め、多くの子どもたちがサッカーイベントに参加している。男女を問わず笑顔で活動している子どもたちの姿に、サッカーの楽しさ、スポーツのもつ魅力が感じられる。今後もさまざまなイベントを通して、子どもたちの笑顔を支えていきたい。



令和5年8月 マジカルフィールド参加のみなさん

また、シニア世代のサッカーも年代別の大会が整備され、県内の選手数も増加している。他支部、他県との交流も盛んに行われ、生涯スポーツとして定着している。

—— これから

2030年に行われる島根かみあり国スポ・全スポに向け、「ゴールを奪う」「ボールを奪う」というサッカーの本質を追求しながら、競技力向上を図っている。それと同じようにサッカーを通して、「大切に思う気持ち」「リスペクトの精神」の醸成にも力を注ぎ、ふるさと島根に対する誇りと愛着をもつ選手、指導者の育成を図り、サッカーファミリーの拡大に尽力していきたい。